



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 1

▼ DL No. 0101-1

Warm Up まず、自己紹介の目的はそもそも何なのか、ペアまたはグループで考えましょう。

・名前を覚えてもらうこと

・自分をアピールすること

・

・

・

・

▼ DL No. 0101-2

Q.1 あなたがいま熱中していること、そしてそのきっかけとなったできごとをできるだけ詳しく書いてください。

いま熱中していることは：

そのきっかけは：

▼ DL No. 0101-3

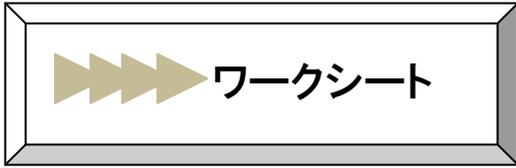
Q.2 Q.1 と同じように、自分の性格について以下の質問に詳しく答えてください。

Q: あなたは自分をどんな性格の持ち主だと思いますか？

A:

Q: どんな時にそのような性格がはっきり出ますか？

A:



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 1

▼ DL No. 0102-1

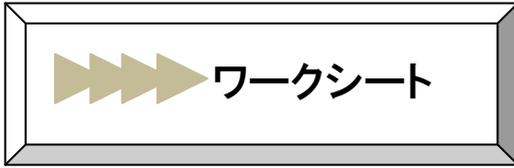
Q.3 ペアを作り，Q.1 および Q.2 の質問をお互いに聞き合ってください。質問に答える際、上で書いた答えを棒読みにするのではなく、自分なりにアレンジして答えてください。それに基づいて相手の印象をメモしましょう。

私の _____ さんに対する印象は：

その理由は：

▼ DL No. 0102-2

Q.4 Q.1-Q.3 の演習を通して，パートナーのことが少しわかってきました。その中であなたが相手に興味を持ったエピソードや気になったことをできるだけ詳しく書いてみましょう。



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 1

▼ DL No. 0103-1

Q.5 自己紹介で自分の印象を残すには、どのような話が効果的かペアまたはグループで考えてみましょう。

・今ハマっていることとその理由	・トホホな失敗談
・	・
・	・
・	・

▼ DL No. 0103-2

Q.6 P.9 の **Point** を念頭に、いまいちど自己紹介で自分の印象を残すにはどのような話が効果的か、ペアまたはグループで考えてみましょう。

・	・
・	・
・	・
・	・

▼ DL No. 0103-3

Q.7 聞き手が親しみを持ってくれる「非言語的」要素をペアまたはグループで考えましょう。

・相手の目を見ながら話す。	・ヤマ場で声の抑揚を変える。
・	・
・	・
・	・



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 1

▼ DL No. 0104-1

Q.8 ここまでで学んだ「自分を知る」、「相手の視点に立つ」、「自分を印象づける」の三つの柱を再確認した上で、あらたな自己紹介の構想を練り、クラスまたはグループで実際にやってみましょう。

メモ



▼ DL No. 0104-2

自己紹介後、皆からコメントをもらい、よかった点、改善すべき点をまとめましょう。

よかった点

改善すべき点



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 2

▼ DL No. 0201-1

Warm Up 「コミュニケーション」は英語 *communication* をカタカナ表記にしたものです。英和辞書を使って、*communication* のもとになった語である *communicate* の語源を調べてみましょう。

▼ DL No. 0201-2

Q.1 では、コミュニケーションを実践するためにはどのような要素が必要かをペアまたはグループで話し合い、以下に書いてみましょう。

・しっかりと相手の目を見て話す。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 2

▼ DL No. 0202-1

Q.2 マレービアンを考えを理解するために、Q.1で挙げた要素を以下のカテゴリー別に分類してみましょう。その結果、空白のカテゴリーができてしまった場合、どのような要素が必要かも考えてみましょう。

カテゴリー1：[顔の表情]

- ・しっかりと相手の目を見て話す。
- ・
- ・
- ・

▼ DL No. 0202-2

カテゴリー2：[(高低など)声の質, 大きさ, テンポ]

- ・
- ・
- ・
- ・

▼ DL No. 0202-3

カテゴリー3：[話す言葉の内容]

- ・
- ・
- ・
- ・

▼ DL No. 0202-4

カテゴリー4：[その他]

- ・
- ・
- ・
- ・



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 2

▼ DL No. 0203-1

Q.3 以下は実際の就職面接で行われたやり取りです。自分ならどのように答えるかを考えてみましょう。

面接官：「あなたにとっての短所を、まるで長所であるかのように話してください。」

私：「

。」

▼ DL No. 0203-2

面接官：「もしあなたが料理人だとすると、美味しい料理を作るために何が必要ですか？
また、調味料とお皿は何をを使いますか？その理由も含めて教えてください。」

私：「美味しい料理を作るためには、

が必要だと考えています。」

私：「また、その調味料とお皿にはそれぞれ、

を使います。」

私：「なぜなら、

です。」



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 2

▼ DL No. 0204-1

Q.4 以下の映画の場面 (*Back to the Future Part III*, 日本語訳・一部著者による変更) を活用し、「相手の理解・納得」を得るためにはどのように答えるべきかを考えてみましょう。

(ヒント: 現代の日本と 1955 年の日本とがどのように異なるのかを考えてみましょう。)

＜博士はタイムマシンを開発し、博士の友人である主人公マーティは現代から 1955 年の世界にタイムトリップをした。
しかし、タイムトリップ後にタイムマシンが故障してしまい、まだ若かった博士に修理を依頼する場面＞
若き日の博士: 「この回路が壊れたのも無理ないな。『日本製』と書いてある。」
マーティ: 「何を言っているんだよ、博士! 現代の最高級品はどれも日本製だぜ。
あんたが誤解したのは、

。」

▼ DL No. 0204-2

Q.5 以下は映画 *The Last Samurai* (邦題: 『ラスト・サムライ』) の一場面です。将軍が切腹したのを見た西洋人のオルグレンは納得がいきません。それに対して、侍の勝元は日本人の考え方を述べます。自分がもし勝元の立場であるなら、西洋人に対して侍の特性をどのように説明するかを、ペアまたはグループで考えてみましょう。

勝元: 「将軍が私に介錯を求めたんだ。侍というものは

理由:



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 2

▼ DL No. 0205

Q.6 以下の 8 つの題材から一つ選び、クライマックス法かアンチ・クライマックス法を用いながら、ペアで互いにその素晴らしさを伝えてみましょう。

好きな国	好きな音楽	好きな番組	好きな人
趣味	祭り	ファッション	将来の夢



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 3

▼ DL No. 0302-1

Q.4 いまから、先生が、次の a, b のパターンで自己紹介をします。

- a. 上の図にある視線の動きをしないで、簡単な自己紹介をいきなり始める。
- b. 上の図と同じ視線の動きをしてから、簡単な自己紹介を始める。

皆さんがどのような印象を受けたのかを話し合ってみましょう。

パターン a の印象：

- ・
- ・
- ・
- ・

パターン b の印象：

- ・
- ・
- ・
- ・

▼ DL No. 0302-2

Q.6 「ほがらか」、「クール」、「こわもて」など、パートナーの顔から得られる印象について書いてみましょう。

パートナーの顔の印象：



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 4

▼ DL No. 0401

Warm Up 「アイデア (idea)」は、もともとギリシア語の「アイデア」に由来しますが、日本語では「思いつき」、「着想」、「観念」、「考え」などと訳されます。実際には「新しいアイデアが浮かんだ」という具合にカタカナで使うことのほうが多いかもしれません。さて、「思いつき」、「着想」という意味でのアイデアが求められるのはどんなときでしょうか？ 考えてみてください。

<アイデアが求められる場面>



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 4

▼ DL No. 0402

Q.1 あなたが通っている大学をより魅力的にするためのアイデアを出しながら、自由に話し合ってみましょう。思いつくままにできるだけたくさん出すことがポイントです。

<あなたの大学をより魅力的にするためには？>

例: キャンパスを清潔にする。



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 4

▼ DL No. 0403-1

Q.1 次に、上記のアイデア同士を結びつけて、「自分の大学をより魅力的にするための提案」をペアまたはグループとしてまとめてみましょう。

▼ DL No. 0403-2

Q.1 最後に、各グループまたはペアからの提案を踏まえて、クラス全体としての最終的な提案としてまとめてみましょう。

<クラス全体としての最終的な提案>



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 4

▼ DL No. 0404

Q.2 下の余白を使って「ボール」のマインド・マップを作ってみてください。どんどん枝を伸ばして余白をすべて埋めることを目指しましょう。



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 4

▼ DL No. 0405

Q.2 次に、ペアまたはグループで、お互いに自分で作ったマインド・マップを見せながら、発想の共通点や自分にはなかった発想について話し合ってみましょう。

<共通点>

<非共通点>



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 4

▼ DL No. 0406

Q.3 あなたにとって理想的な交通機関はどのようなものですか？自由に挙げてみましょう。

<理想的な交通機関は？>

・必ず座ることができる。

・

・

・

・

・

・

・

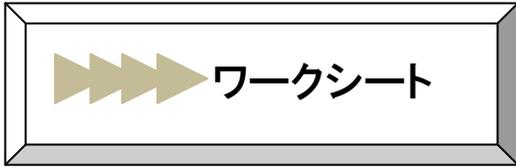
・

・

・

・

・



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 4

▼ DL No. 0407

Q.4 「携帯電話(スマホ)」の短所や欠点は何でしょうか？自由に挙げてみましょう。

<携帯電話(スマホ)の短所や欠点は？>

・電池がすぐになくなってしまふ。

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 5

▼ DL No. 0501-1

Q.1 おもしろくて思わず聞き入ってしまう話ができる人を思い浮かべ、彼らに共通する特徴をペアまたはグループで出し合い、書き出してみましょう。

・何を言いたいのか即座にわかる。

・いいタイミングでたとえ話を織り込む。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

▼ DL No. 0501-2

では、退屈で、内容がよくわからない話しをする人を思い浮かべ、彼らに共通する特徴をペアまたはグループで出し合い、書き出してみましょう。

・話があちこち飛ぶ。

・説明が足りない。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 5

▼ DL No. 0502-1

Q.2 プレゼントを贈りたい人を思い浮かべ、その人が喜んでくれるようなプレゼントの贈り方を考えてください。

(1) 贈る相手はどんな人ですか？特徴をできるだけ詳しく書き出しましょう。 ➡□ 誰に？

_____は、
相手の名前

▼ DL No. 0502-2

(2) この相手にはどんなプレゼントがふさわしいと思いますか？ ➡□ 何を？

ふさわしいプレゼント：

▼ DL No. 0502-3

(3) どうしてそのプレゼントがふさわしいのか、その根拠(理由)を書き出しましょう。 ➡□ なぜ？

理由：



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 5

▼ DL No. 0503-1

Q.3 上の例を参考に、「LINE などの SNS」という題でアウトラインを作りましょう。

誰に：

▼ DL No. 0503-2

何を：

▼ DL No. 0503-3

なぜ： ①

②

③



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 6

▼ DL No. 0602-1

Q.2 上で挙げた「モチベーションの維持」の3要素に、ペアまたはグループで実際に例を考え、主張の説得力を高めましょう。

論点：仕事ができる人はモチベーションを維持する力が強い。モチベーション維持とは
つまり、

要素①：仕事の内容に楽しみを見つけること

例：仕事でこれだけは誰にも負けないというものを探し出すことにより、仕事が楽しいものだと
感じることができる。

要素②：仕事の成果をイメージできること

例：

要素③：適度なプレッシャーを楽しめること

例：

▼ DL No. 0602-2

Q.3 ペアまたはグループで、「健康管理には正しい生活習慣が重要だ」という主張から3つの要素を抽出し(言い換えをほどこして)、それぞれの例を加えて主張の説得力を高めましょう。

<例>

要素： 適度な運動をすること

例：体脂肪を減らし、心臓や筋肉を鍛えることにより、病気になりにくい体作りができる。

要素①：

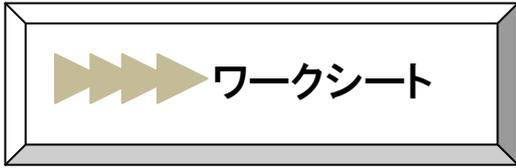
例：

要素②：

例：

要素③：

例：



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 6

▼ DL No. 0603

Q.4 「先生やクラスメートに賞賛されるようなプレゼンテーションをしたい」という主張を裏づけるステップをペアまたはグループで考えてみましょう。

賞賛されるプレゼンテーションをするには……

1.

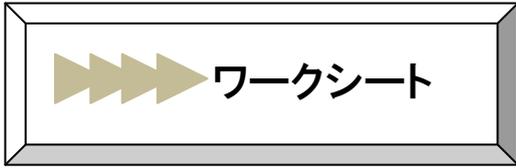
2.

3.

4.

5.





授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 6

▼ DL No. 0604-1

Q.5 死刑制度について、以下のように主張と反論を設定します。ペアまたはグループで反論の意味をよく考え、それに論駁しましょう。

自分の主張：死刑制度を維持すべきだ。

相手の反論：死刑はそれ自体が殺人であり、生存権という人権を侵害しているため廃止すべきだ。

反論への論駁： ①

②

③

▼ DL No. 0604-2

Q.6 今度は Q.5 と正反対の立場の主張を立てました。ペアまたはグループで反論、そしてそれに対する論駁を考えてみましょう。

自分の主張：死刑制度を廃止すべきだ。

相手の反論：_____。

反論への論駁： ①

②

③



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 7

▼ DL No. 0701-1

Q.1 この文章において、作者がもっとも伝えたいこと(=主張)は何でしょうか。

論点：

▼ DL No. 0701-2

Q.2 Q.1 で答えた作者の主張を支えている事項が3つあります。それを1文でまとめましょう。

サポート①

▼ DL No. 0701-3

サポート②

▼ DL No. 0701-4

サポート③

▼ DL No. 0701-5

Q.3 この文章における最後の2行の役割が何かを話し合ってみましょう。

役割：



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 7

▼ DL No. 0702

Q.4 Unit 5 の演習で、「LINE などの SNS」という題でアウトラインを考えました。そのアウトラインを参照しながら、文章用として「本論」、「サポート」、「まとめ」を含むアウトラインを作りましょう。サポートは3点挙げてください。もちろん別の題で新たに考えてもかまいません。

第1段落: 本論+根拠(サポート)

第2段落: サポート1の展開

第3段落: サポート2の展開

第4段落: サポート3の展開

第5段落: まとめ



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 8

▼ DL No. 0801-1

Q.1 資料にもとづき定義を書く際、どのような取捨選択がなされているかを、ペアまたはグループで考えてみましょう。

▼ DL No. 0801-2

Q.2 下線部の「しかし」を置くことによって、レジュメにどのような効果があるでしょうか？

▼ DL No. 0801-3

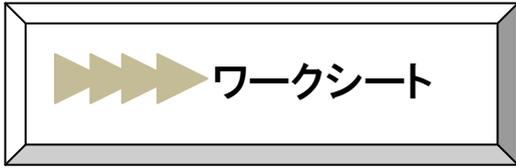
Q.3 重要な箇所を際立たせるテクニックとしてどのようなものに気付きましたか？ 3点挙げましょう。また、それをペアまたはグループで比較しあいましょう。

▼ DL No. 0801-4

Q.4 上のレジュメには百科事典の説明にはないことが書いてあります。その部分を書き抜きましょう。また、それにはどのような作者の意図があるか、ペアまたはグループで考えましょう。

追加した部分：

効果：



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 8

▼ DL No. 0802-1

Q.5 「大陸棚」の説明と大きく異なるのは、ここでは「エルニーニョ」、「ラニーニャ」という2つの概念があることです。この点を踏まえ、レジェメにする場合にはどのようなレイアウトが最適かイメージを書いてみましょう。そしてペアまたはグループで比較してみましょう。



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 8

▼ DL No. 0802-2

Q.7 ユニットの冒頭でも述べた「簡潔さ」、「ポイントの強調」、「話の展開」の3点を念頭に、オリジナルのレジюмеを作成しましょう。

日付：
名前：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 9

▼ DL No. 0901-1

Q.1 さて、あなたは警備員（市側）の味方につきますか、それとも男性側の味方につきますか？自分の意見が決まったら、その意見と理由を書いてください。

意見：

▼ DL No. 0901-2

理由：



ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 9

▼ DL No. 0902

Q.2 この事例の中で重要だと思われる「事実」はなんですか？

重要な事実：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 9

▼ DL No. 0903

Q.3 先ほど選んだ自分の意見と逆の意見を持つ相手はどのような主張をするか、予想しながら話し合ってみましょう。

予想される相手の主張：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 9

▼ DL No. 0904-1

Q.4 それに対して自分たちはどのように反論しますか？

相手の主張に対する自分たちの反論：

▼ DL No. 0904-2

Q.5 自分たちの意見は社会の大多数が納得する意見だと思いますか？ 社会の常識や正義にかなっているかどうかという点から、その理由とともに考えてみてください。

社会の常識や正義にかなっているかどうか：

▼ DL No. 0904-3

Q.6 以上を踏まえると、自分たちが最初に決めた意見はやはり正しいと思いますか？ それとも意見を変えるか、または修正しますか？

自分たちの最終的な結論：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 9

▼ DL No. 0905-1

Q.7 ① 価値判断：あなたは死刑制度の存続に賛成(=存続派)ですか？それとも反対(=廃止派)ですか？

賛成(存続すべき)

反対(廃止すべき)

▼ DL No. 0905-2

Q.8 ② 事実の調査：死刑制度に関する客観的な事実を調査してみましょう。または思いつく限り挙げてみましょう。

<死刑制度に関する客観的な事実>

- ・死刑判決が確定した後、日本国内の拘置所で執行される。



ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 9

▼ DL No. 0906

Q.9 ③ 立場の比較：あなたと逆の意見の人はどのような主張をするでしょうか？ それに対してあなたはどのように反論しますか？

予想される逆の意見：

それに対する反論：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 9

▼ DL No. 0907

Q.10 ④ 問題の本質－死刑制度は何のために作られ、またそれに対して賛成や反対が主張される究極の原因は何だと思えますか？

究極の原因：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 9

▼ DL No. 0908-1

Q.11 ⑤ 社会常識・正義(正当性) —あなたの意見には社会の大多数の人が納得すると思いますか？
あなたの意見では正義が実現されていると思いますか？

自分の意見の正当性：

▼ DL No. 0908-2

Q.12 ⑥ 結論 —あなたは自分の意見を維持しますか？それとも変更・修正しますか？

最終的な結論：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 9

▼ DL No. 0909

Q.13 賛否が分かれる問題(例えば、「ゴミの有料化」や「成人年齢の18歳への引き下げ」などを何か1つ取り上げて、「プレップ法」で意見をまとめたうえで、主張してみましょう。

選んだ問題：

・P:

・R:

・E:

・P:



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 10

▼ DL No. 1001

Warm UP 英語で「あらすじ」は *storyline*(ストーリーライン)、「概要」は *outline*(アウトライン)と表現されます。つまり、*storyline* は「話(*story*)の流れ(*line*)」、*outline* は「外形(*out*)を線で書く(*line*)⇒輪郭を描く」というイメージです。これらの英単語も参考にして、「あらすじ」と「概要」の意味の違いを考えてみましょう。

<「あらすじ」と「概要」の違い>

あらすじの特徴

概要の特徴

・

・

・

・

・

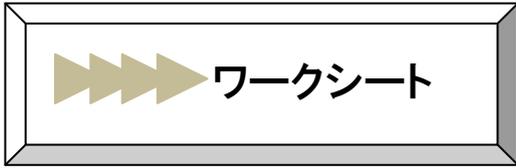
・

・

・

・

・



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 10

▼ DL No. 1002

Q.1 まず、以下のジャンルから題材を1つ選び、その概要を書いてみましょう。

成功話	失敗話	感動・興奮話	驚嘆話
-----	-----	--------	-----

選んだ題材とその概要：

例：驚嘆話「仲の良い人との価値観の違いで驚いたことについて」



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 10

▼ DL No. 1003-1

Q.2 上記のテクニック(1)～(3)から1つ選び, Q.1 で選んだ題材の具体的な導入部分を考えてみましょう。

選択したテクニック:

導入部分:

▼ DL No. 1003-2

Q.3 以下を参考に, Q.1 で選んだトピックについてその「前フリ」と「オチ」を先にまとめておきましょう。

<ギャップが大きい具体例>

[前フリ(=開始部分:本題に入るためのトピック提示)]:「御曹司の彼氏ができた」

[オチ(=結論部分;最後の面白い部分)]:「彼にカップラーメンというものを食べてみたいと言われた」

前フリ:

オチ:



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 10

▼ DL No. 1005

Q.5 以下を参考に、Q.4 の時系列の骨組みに続く形(=特に Q.4 の第 4 期の内容をふくらませる形)で「最も述べたいシーンの肉付け」をしてみましょう。

Q.4
の
骨
組
み

テニスクラブの夏の合同合宿中に今の彼氏と出会ったの。練習中にね、ラケットの網が切れたのを直してもらったときに話したのが初めてだったわ(第1期)。

その後、夏が終わってからも互いにLINE で連絡を取り合ってさ、共通の趣味が映画だったから、毎月一度は一緒に映画館に行くようになったのよ(第2期)。

でね、知り合って半年後、とうとう映画館の帰りに告白されたわけ。それ以来、もっと会う時間を増やすようになったの(第3期)。

そして・・・(第4期)

- (1) When (いつ) 例: 付き合って初めての誕生日に
- (2) Where (どこで) 例: 京都のカフェで
- (3) Who (誰が) 例: 見た目は普通の同年代の彼氏が
- (4) What (何を) 例: 記念日の食事にカップラーメンを
- (5) Why (なぜ) 例: 誕生日のお祝いだから
- (6) How (どのように) 例: 初めて食べてみたいと言われた。

(1) When (いつ):

[

]

(2) Where (どこで):

[

]

(3) Who (誰が):

[

]

(4) What (何を):

[

]

(5) Why (なぜ):

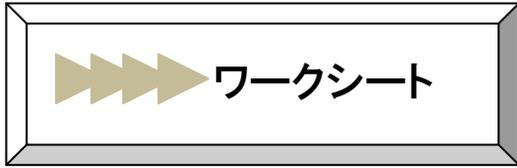
[

]

(6) How (どのように):

[

]



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 10

▼ DL No. 1006-1

Q.6 そこで、以下のように「気持ちを挟んでいく」ことを参考に、伝えたい気持ちを整理し、Q.5 のあらすじのあとに「命」を吹き込んでみましょう。

「気持ちを挟んでいく」具体例：

- ・「ロマンティックなレストランを考えていたのに～。」
- ・「ね、変わった性格だと思わない？」
- ・
- ・
- ・
- ・

▼ DL No. 1006-2

Q.7 最後に、「価値観って重要だよね！」など、「締め言葉」を付け加えましょう。

締め言葉：



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 11

▼ DL No. 1101

Warm UP 心理学には「相手の反応が自分のコミュニケーションの成果である」という考えかたがあります。では逆に、スピーチをして自分が望む成果が得られなかった場合、その原因が何かを考えてみましょう。

<スピーチをして自分が望む成果が得られなかった場合の原因>

・難しく説明してしまった。

・根拠を十分に示さなかった。

・

・

・

・

・

・

・

・



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 11

▼ DL No. 1103

Q.2 ペアを組んで、「愛」はどのような側面を持っているかを話し合しましょう。また、その中でも特に前景化して説明しやすいものを一つ選び、まるをつけましょう。

・熱いもの

・引きあうもの

・結びつくもの

・

・

・

・

・

・

・

・

・



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 11

▼ DL No. 1105

Q.4 論理的な説明を行うには「因果関係」(＝原因と結果の結びつき)を明確にしておくことが重要です。
以下の例を参考に、Q.3 で主張した内容への「根拠」をペアで考えてみましょう。

<根拠>

例:愛は炎のように熱い側面を持っている。_____ <結果>

なぜなら、人を愛すると興奮して体温が上がるからだ。_____ <原因>

例:愛は磁石のように引き合う側面を持っている。_____ <結果>

なぜなら、人を愛すると相手を感じるために抱きしめたくなるからだ。_____ <原因>

案:愛は _____ のように _____ (という)側面を持っている。

[具体物]

[一側面]

なぜなら、人を愛すると _____

_____ からだ。

[原因]



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 11

▼ DL No. 1106

Q.5 以下の例を参考に、Q.4 の因果関係を証明する「実例」をペアで考えてみましょう。

<証明>

例：愛は炎のように熱い側面を持っている。_____ <結果>

なぜなら、人を愛すると興奮して体温が上がるからだ。_____ <原因>

その証拠に「愛が燃え盛る」「愛が下火になる」等と表現される。_____ <証明>

例：愛は磁石のように引き合う側面を持っている。_____ <結果>

なぜなら、人を愛すると相手を感じるために抱きしめたくなるからだ。_____ <原因>

その証拠に「彼女の目に惹きつけられた」「切っても切り離せない関係」等と
表現される。_____ <証明>

案：愛は _____ のように _____ (という)側面を持っている。

[具体物]

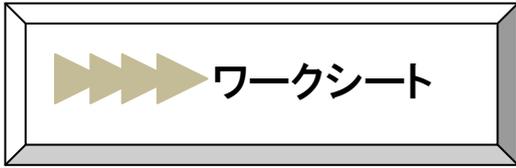
[一側面]

なぜなら、人を愛すると _____
_____ からだ。

[原因]

その証拠に「 _____ 」
_____ [証拠]

「 _____ 」等と表現される。
_____ [証拠]



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 11

▼ DL No. 1108

Q.7 Q.6 を参考に、同じ手法で、「人生とは何か？」という問題提起について、ペアまたはグループで説明しあってみましょう。



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 12

▼ DL No. 1201

Warm UP 英語の *business talk* (ビジネス・トーク) は「商談」を指します。ここで重要なことは、お客様に「買ってもらって」初めて「商談に成功した」と言えることです。その意味では、商談は商品の良さを伝える「プレゼンテーション」であり、同時にそのプレゼンテーションによってお客様を「説得」する必要があります。

まず、商談を成功に導くために必要な事柄をブレイン・ストーミングしてみましょう。

<商談を成功に導くために必要な事柄>

・相手のニーズを知る

・

・

・

・

・

・

・



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 12

▼ DL No. 1203

Q.2 Q.1 から魅力的な商品を1つ選び、その情報・背景知識を整理してみましょう。

商品名：

①その商品を使用することによって得られる効果

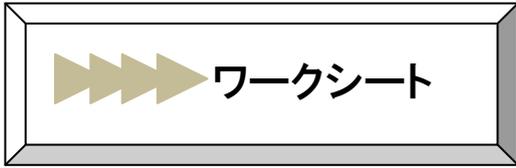
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

②その商品が他の商品と比べて特に際立つ点

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

③その商品が生み出された背景, 歴史, 文化など

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 12

▼ DL No. 1205

Q.4 Q.1 の商品について述べた上記 Q.3 の説明を活かすために有効な方法論 (Unit 10 参照) に をつけ、その導入部分の具体的文言を考えてみましょう。

カリギュラ効果

ブラシーボ効果

ラポールトーク

導入部分：



授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

Unit 12

▼ DL No. 1206

Q.5 締め言葉として有効なテクニックを Point の(1)－(3)から 1 つ選び, Q.1 で選んだ商品を勧めるための具体的な締め一言を考えましょう。

選択したテクニック：

締め言葉：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 13

▼ **DL No. 1301**

Warm Up ここまでは1人が単数または複数の相手に対して行うコミュニケーションを見てきましたが、このユニットで学ぶ「ディスカッション (*discussion*)」は複数の人間同士で行われる形態のコミュニケーションです。日本語では「討議, 検討」と言われます。1人ではなく複数の人間が特定の問題について話し合うことにはどのような意味や利点があり、逆にどのようなリスクや問題点があるのでしょうか？考えてみてください。

<複数の人間同士が話し合うことの利点と問題点は？>



ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 13

▼ **DL No. 1302**

Q.1 「クール・ジャパン」のように日本の良さを世界に発信するキャッチフレーズをグループで話し合いながら考えてください。

キャッチフレーズ：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 13

▼ **DL No. 1303**

Q.2 質問を変えます。「お金が嫌いだ」と言う人はあまりいませんが、では人間の「幸せ」と「お金」の間はどのような関係があると思いますか？ 再びグループで話し合ってみましょう。

「幸せ」と「お金」の関係：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 13

▼ DL No. 1304-1

Q.3 男女間で友情は成立すると思いますか？ それともしないと思いますか？

成立する

成立しない

▼ DL No. 1304-2

根拠：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 13

▼ DL No. 1305-1

Q.4 日本は死刑制度を廃止するべきでしょうか？ それとも維持するべきでしょうか？ Unit 9 で得られた成果も参考にしながら考えてみましょう。

廃止する

維持する

▼ DL No. 1305-2

根拠：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 13

▼ **DL No. 1306-1**

Q.5 みなさんが住んでいる都道府県により多くの外国人観光客を誘致するにはどうすればよいでしょうか？ ペアまたはグループで上の手順に従ってディスカッションをしてみましょう。

①原因・問題点の列挙：

▼ **DL No. 1306-2**

②原因・問題の特定化：

▼ **DL No. 1306-3**

③解決策：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 13

▼ DL No. 1306-4

Q.6 日本で進行している少子化の進行を食い止めるための方策を「問題解決型」ディスカッションの手法を用いて考え、導かれた結論を書きましょう。

①原因・問題点の列挙：

②原因・問題点の特定化：

③少子化を食い止める方策：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 14

▼ **DL No. 1401**

Q.1 実際にディベートをする準備を始めましょう。まず、ペアまたはグループを組み、賛成・反対に分かれている問題を話し合って選んでください。そして、それぞれ自分の立場を理由とともに決めてください。

選んだテーマ：

自分の立場：

理由：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 14

▼ DL No. 1402-1

Q.2 ディベートを開始する前に、次の①～④の順番で準備を進めてください。

①司会者と判定人（ジャッジ）の決定

司会者：

ジャッジ：

▼ DL No. 1402-2

②グループ分け：

▼ DL No. 1402-3

③テーマ発表・グループ分け

テーマ：

賛成側：

反対側：

▼ DL No. 1402-4

④グループ別の準備

収集した情報およびその分析結果：

論破するための材料：

 ワークシート

授業実施日： 年 月 日
学籍番号：
氏名：

 Unit 14

▼ **DL No. 1403**

Q.3 Unit 9「意見の形成と主張」で紹介した *PREP* 法を活用しながら自分たち側の立場を論理的に明確化しておきましょう。

①立場の確認：

②どのような理由や根拠にもとづいてそのような立場を主張するのか？

③自分たちの立場を補強する事例やデータ・調査：

④相手側からどのような反論が予想され、それに対してどのように答えるか？

⑤相手側の主張の強みや弱点は何か？ それらに対してはどのような攻撃材料があるか？

⑥結論(①と同じ)：